



それぞれの決意を胸に、友と、家族と祝う20年の節目

令和6年内子町20歳の記念式



記念式の様子は、内子町公式Instagram「うちコト」でも紹介しています。ぜひご覧ください。

▶ uchikoto_official



「令和6年内子町20歳の記念式」が1月7日、内子町共生館で開かれました。平成15年4月2日〜16年4月1日生まれの対象者のうち119人が参加しました。

式典では小野植正久町長が「凛々しく成長した皆さんは、まぶしいほどに頼もしい存在。内子の魅力を未来へ伝える力になってほしい」とあいさつ。続いて、出席者を代表して篠崎舞さんが「内子は私の誇り。今の私がいるのは家族や先生、地域の皆さん、仲間たちのおかげ。今まで甘えた分をお返しできるよう、これからの人生を力強く歩みたい」と誓いの言葉を述べました。

記念行事では宮崎大知さんが、プロを目指して修業を重ねた狂言を披露。続いて各地区を代表して4人が決意発表をしました。記念品の贈呈や恩師からの激励の言葉もあり、参加者は20歳の節目を家族や友人と喜び合っていました。



【式典の様子】

1_出身中学校ごとに分かれて記念撮影。友達との再会に、自然と笑顔がこぼれる 2_宮崎さん(左)が先輩狂言師とともに、狂言『福の神』を披露 3_参加者を代表して、佐野まりなさんが小野植町長から記念品を受け取った 4_誓いの言葉を述べる篠崎舞さん



意見発表した皆さん



小田地区代表
永居 歩起さん
=森=

今、この時を大切に
地域を守る消防士に――

消防士として働いています。地元の平和と安全を守るという幼い頃からの夢をつかなえました。大切にしているのは恩師の「今は今しかない」という言葉。命に関わる仕事をする者として、強く心に刺さります。自覚と責任を持ち、お世話になった皆さんに恩返ししたいです。



五十崎地区代表
大森 ほほ美さん
=岡第2=

自分の選んだ道を信じて
少しずつ歩みを進めたい

カウンセラーを目指して県外の大学で心理学を勉強しています。災害などでトラウマを抱える人の力になりたいと思ったからです。10年前の自分から届いた手紙にも、他者に貢献できる夢を持つ私がいました。未熟な部分もあるけれど、自分が選んだ道に自信を持ち、前に進みたいです。

困難な時こそ先頭に立ち、
誰かの力になれる大人に

新型コロナで制限の多い生活を強いられたように、これからも予想外の出来事があるかもしれません。そんな時こそ自ら前に立ち、正しい情報を見極めて先導する大人になれるよう精進します。困難なときも互いに協力し、その力を内子町に、そして全国に届けられるよう努めます。



大瀬地区代表
泉 摩阿さん
=喜田村=

憧れの師匠のような
狂言師を目指したい

私は現在、大蔵流狂言師・茂山千三郎の弟子としてプロを目指しています。高校を卒業し、右も左も分らず飛び込んだ世界。憧れだけでは越えられない苦しいこともありましたが、優しい師匠や先輩に何度も助けられました。感謝の気持ちを忘れず、希望に向かって突き進みます。



内子地区代表
宮崎 大知さん
=富長=